

2021年度

生協10の基本ケアニュース vol.1

ご利用様が自分らしい暮らしを最期まで続けることができるよう、日常生活行為そのものをリハビリと捉えた自立支援を行っています。個々のケースに応じて「この利用者にとっての自立支援はどう考えるか」を日々話し合い、その方の想いに添った目標、それを実現するためのケアのあり方を「生協10の基本ケア」を通して共通理解を持つことで、統一したケアを実践しています。

これまでの、取り組みを通して、ご家族様から頂いた声を紹介します。



現在98歳という年齢的からも、現状を維持し在宅生活の継続ができていくというのが何よりも素晴らしい事だと思っています。自身の足で歩行し、トイレにも行け、自身で食事をしてもらえることが立派なことだと思っています。



洗濯物をたたんで頂いたりと残存能力を生かした関わりを持っています。

カレー作りの時には野菜の皮むきをして頂いたり、

その他にもたくさんの声を頂いています!

- 退院後は会話も食事もままならない状態でしたが、初回利用より車いすから椅子に座り替えてもらい、トイレにも座って頂きました。みるみる元気を取り戻し、自力での食事、トイレでの排泄もできるようになり、笑顔も多くみられるようになりました。
- 他施設入所後すぐに車いすになり、著しいレベル低下にショックを受けました。かがやきでの関わりでレベルが維持できていたのだと改めて気づきました。
- 入院時は車椅子対応でしたが、利用開始後、歩行器歩行が出来るようになり、表情も明るくなりました。
- ご本人より「利用日が待ち遠しい、こんな良いところがあったなんて幸せ。天国です」

ご家族様より

いつも元気に又楽しそうに行事に参加している様子を見て嬉しく思っています。先日親戚に会いに行き「元気が変わりないね」と褒めてもらいました。かがやきのおかげで感謝しています。

